



# 担任と外部人材との役割分担を 管理職も協力して明確化

## 埼玉県蓮田市立蓮田南小学校

蓮田市立蓮田南小学校は、チーム・ティーチング（ＴＴ）で外国語活動を行う。  
学級担任はＴ１として授業を進行させ、ＡＬＴや外国語活動サポーターはＴ２として発音・アクセントなどを教える。  
役割分担を明確にすることで、担任の学級経営力と外部人材の外国語力、それぞれの強みがより生きる授業になっている。

### 就任前の授業参観で 活動や役割分担の 目的がつかめる

蓮田市立蓮田南小学校は、全学年での外国語活動に２００７年度から取り組んでいる。

授業は、学級担任がＴ１として進め、教育委員会から派遣されるＡＬＴや、地域ボランティアとして登録されている日本人の「外国語活動サポーター」（ＪＴＥ。以下サポーター）がＴ２として指導に当たる（図）。

特に、来校頻度が高く、日本語でのやりとりが出来るサポーターの存在は大きい。それだけに、担任とサポーターの役割分担を明確にし、互い

の強みを生かす授業づくりが大切だ。  
倉持勝義校長は、その意義を次のように説明する。

「児童の個性や普段の様子を最もよく把握している担任が進行すれば、積極性が見られない場合に声掛けをしたり、アクティビティのルールを全員が理解できるように説明の時間を長くするなど、児童に対する細かな配慮が出来ます。外国語の正確な知識や発音はサポーターが教えるというように役割を分ければ、外国語を話すのに不慣れな先生の精神的な負担が減り、進行に集中できます」

サポーターには、就任前に外国語活動の授業を２、３回参観してもらい、活動の雰囲気や児童の様子を感じてもらおう。

### 年間指導案を共有し 短い打ち合わせ時間を 有効に活用

「外国語活動の目的がコミュニケーション能力の育成であることや、担任との役割分担のねらいを理解した上で、語学の知識を発揮していただきたい。その点をはっきりと伝えるために、校長の私が直接参観をお願いしたり、積極的に話しかけたりしています」（倉持校長）

担任とサポーターは、当日の朝学習の時間を使って打ち合わせを行う。15分程度だが、あらかじめ年間の指導案を共有していることで、限られた時間を有効に使えるという。

「サポーターには、その日に行うゲームの内容や教える表現を指導案で確認するなど、事前準備をしてもらっています。そのため、当日は授業の流れと時間配分を最終確認する程度で済みます。もし、実際の授業が発音練習に偏るなど指導案の意図からずれたと感じたら、それを授業後の休み時間にサポーターにきちんと伝えることも担任の役目です」（外国語活動主任の田中由美先生）

7年前からサポーターとして同校の授業に携わっている矢嶋寿恵さんは、担任との役割分担について次のように話す。

「子どもと日常的に接していない私たちには、集中していない子どもを、注意すべき場面なのか、注意す

図 外国語活動における学級担任と外国語活動サポーターとの役割分担

		学級担任の役割	外国語活動サポーターの役割
授業前			●指導案で当日のゲーム内容や教える表現をあらかじめ確認しておく
		●担任とサポーターは、当日の朝学習の時間(約15分)を使い、その日の授業の流れや時間配分について打ち合わせる	
授業中	あいさつ	●サポーターと同様、英語で話し掛ける ●サポーターの児童への問いかけに対し、絵やジェスチャーでヒントを出す	●全体に声を掛ける ●日付、曜日、天気などを英語で尋ねる
	歌	●必要に応じて、サポーターの説明を日本語で補足説明 ●CDなど、機器の操作	●発音や歌詞の指導 ●意欲的に歌う児童を英語で褒める
	導入	●スキットのデモンストレーション(英語で/日本語で) ●児童と一緒に発音 ●絵やカードの提示	●スキットのデモンストレーション(英語で) ●発音の指導
	本時の主活動	●ゲームの仕方を日本語で補足説明し、児童からの質問を受ける ●サポーターと一緒にゲームのデモンストレーション ●ゲームをするグループ編成を指示 ●児童と一緒にゲームに参加	●ゲームの仕方を英語で説明 ●学級担任と一緒にゲームのデモンストレーション ●積極的にゲームに参加する児童を褒める
	まとめ	●児童に感想を聞く ●次時の予告 ●授業の評価 ●あいさつ	●授業の評価 ●児童一人ひとりと視線を合わせてハイタッチをして別れる ●あいさつ
授業後	●授業の反省点などがあれば、休み時間を使って担任からサポーターに伝え、共有する ●次週分の打ち合わせ		

●授業の進行  
●活動にとまどう児童のサポート  
●積極性が見られない児童への声掛け

\* 同校の資料を基に編集部で作成

るにしても、何と言ったら良いかが分かりません。先生方には、『外国語が分からなかったら私がフォローするので、間違いを恐れずに、学級経営の延長で堂々と進行してください』と伝えていきます」

倉持校長は、今後について次のように話す。

「学級経営のスタイルに応じて、先生ごとに多様な授業の形が出来るのが理想です。そのためには、サポーターに頼りきるのではなく、担任自身が徐々にインプットを増やしていったほしいと思います。先生方には、他校の研修会にも積極的に参加するよう呼び掛けています。その際、単に見学するだけでなく、自分ならどうするかを考えてもらいたい。研修後には、今後の授業について自分なりの改善点や

工夫を書いて提出してもらい、職員会議などで全員が共有し、指導案にも反映します。全教師が課題意識を持ち、自信を持って進行できる方法を考えることが大切です」

School Data

埼玉県蓮田市立蓮田南小学校

**概要** 1892(明治25)年開校。2007~09年度、文部科学省の英語活動等国際理解活動拠点校の指定を受ける。ALTや外国語活動サポーターを積極的に活用しながら、すべての教師がT1として指導できる授業づくりを目指して研究を進めている。

**校長** 倉持勝義先生  
**児童数** 683人  
**学級数** 22学級(うち特別支援学級2)  
**所在地** 〒349-0111 埼玉県蓮田市東6-9-11  
**TEL** 048-768-0074  
**URL** <http://homepage3.nifty.com/hasudaminami/>  
**研究発表会予定** 2011年1月27日(木)



蓮田市立蓮田南小学校  
倉持勝義 Kuramochi Katsuyoshi  
校長

「今日を真剣に学び、自分の夢をかなえる力を身に付けようとする子どもを育てたい」



蓮田市立蓮田南小学校  
田中由美 Tanaka Yumi

外国語活動主任 6学年担任  
「褒めることによって、子どもの意欲や積極性を引き出したい」



蓮田市立蓮田南小学校  
矢嶋寿恵 Yajima Toshie

蓮田市外国語活動サポーター  
「外国語に対する親近感と、世界中の人々への関心を育てたい」